

2024CUC中小企業マネジメントスクール

経営改革を推進するセミナー受講生募集！

テーマ 『中小企業が取り組むべきDX改革』



開催日時

9月14日(土)・10月12日(土)・11月9日(土)・12月14日(土)

第1部/勉強会15:30~18:00 (全4回) ※初回と最終回は、開講式、修了式を行います

第2部/異業種交流会18:30~20:00 (自由参加・飲食付※無料)

定員 50名

受講料 12,000円 (単発での受講の方は、4,000円/1回)

会場 千葉商科大学 (本学Web参照) ※公共交通機関をご利用ください

申込締切日 [全4回の方]9月10日(火)・[単発の受講の方]各回開催日4日前の火曜日

申込詳細 大学Webページ「CUC中小企業マネジメントスクール」をご覧ください、お申込みフォームからお申込みください。

お申込み用QRコード



主催 千葉商科大学 地域連携推進センター 協力 生々塾 (本スクール修了生の経営学習会)

後援 市川市、千葉県中小企業家同友会、千葉県経営者会議、東京東信用金庫、千葉信用金庫

■お申込み・お問合せ

千葉商科大学 公開講座 係

TEL:047-372-4111

E-mail:cucr_open@cuc.ac.jp

http://www.cuc.ac.jp

◎お申込みに際してお寄せいただいた個人情報は、本講座に関する事務連絡以外の目的には使用いたしません

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

ACCESS

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。駐車場の用意はございません。

最寄り駅まで

※4路線4駅からアクセス可能

数字は本学までのおおよその所要時間



最寄り駅からのアクセス

《JR総武線 市川駅》(東京駅から快速で20分)

●徒歩20分

●バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば 松戸駅行または松戸営業所行に乗り10分

《京成線 国府台駅》(京成上野駅から30分)

●徒歩10分

《北総線 矢切駅》(印西牧の原駅から27分)

●徒歩20分

●バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば 市川駅行に乗り10分

《JR常磐線 松戸駅》(柏駅から15分)

●バス利用の場合/駅前京成バス1番のりば 市川駅行に乗り20分

◎バス利用の場合、いずれも「和洋女子大前」下車 徒歩3分

PROFILE



第1回 9月14日（土） 株式会社イシド 代表取締役 沼田 紀代美

『中小企業がDX改革で競争力を高める方法：いしど式のITプラットフォーム戦略』

そろばん業界のイノベーターであるいしど式は、CRM（顧客管理システム）を中核としたITプラットフォームの導入により、世界展開を実現しています。

いしど式が直面した課題とそれを乗り越えるための戦略、CRMを活用したKPI（重要経営指標）管理によるチェーン展開や集客から顧客満足を高めるためのDXの具体的なプロセスと戦略をご紹介します。

第2回 10月12日（土） 国際自動車株式会社 代表取締役会長 西川 洋志

『中小企業が取り組むべきDX改革』

創業104年を迎える当社では、ハードウェアとソフトウェア、そして情報が貴重な経営資産です。旅客運送会社（タクシー/ハイヤー/バス）に於けるDXの根幹は、「お客さまやドライバーの安全を守るスキル・ノウハウをデジタル情報化して、全ての人の安心をカタチにすることです。」その“こころ”を通じた、企業経営についてお話しします。

第3回 11月9日（土） 株式会社ミヨシテック 代表取締役社長 永谷 顕

『ブルドーザー社長と担当が二人三脚で始めたDX推進によるデータ経営』

大阪でガス工事を中心とした設備工事会社が、DX化が遅れていると言われるこの業界で激しい社会情勢・市場変化に伴うお客様ニーズの変化に柔軟に対応するために選んだ方法はDX推進でした。「小さくはじめて大きく育てるDX」私たちが実際にDX化に取り組んだ事により2022年7月にDX認定企業・2024年DXセクション優良事例企業となりました。

その道のりをkintone・RPAの活用事例、利用中の社内データ等事例を交えてご紹介いたします。

第4回 12月14日（土） 旭工業株式会社 代表取締役社長 橋本 明秀

『市場変化対応そして会社の成長、IT人材いなくてもやりきるDX戦略』

精密板金業というモノづくりの事業を継いで22年。社長は文系、IT人材ゼロ、募集しても来ない。その上での経済産業省から2023年DX認定を取得、そして2024年DXセクションで表彰されるまでになりました。なぜDXの取り組みが必要なのか。取り組むとどうなるのか。市場環境変化が早い中、生き残りをかけどうやってDXと共に変革し成長してきたか。IT人材いない中での従業員達との取り組みの数々をお話しさせていただきます。